広報
やながわ
YANAGAWA 2005. NO.20
1月15日

今号の内容 ページ

◆平成16年度決算報告 2〜5
◆平成17年第6回柳川市議会定例会報告 6・7
◆ピアスアライズ（株）九州工場取得についての経過説明 8・9
◆申告相談が始まります 10
◆市消防出初式 11

大いなる志を胸に

合併後初めての成人式

1市2町が合併して初めての成人式が1月8日、市民会館で開かれました。今年成人式を迎えたのは899人（男430人、女469人）。保護者や関係者などで1000人収容できる会場は、立ち見が出るほどの満杯になりました。

まほろば雲龍太鼓の演奏で式は始まり、国歌斉唱や市長式辞、新成人の謝辞などが厳粛に行われました。

合併記念として行われた「二十歳の主張」では、真崎友加李さん（柳城中出身）と塩塚真一郎さん（大和中出身）、白谷享平さん（三橋中出身）の3人が登壇。自分が生まれ育った地域の紹介を交えながら、真崎さんは4月から英会話の先生として活躍することを、塩塚さんは教師になる夢を、白谷さんは友達と助け合うことの大切さを力強く語りました。

◆人権・同和教育シリーズ…No.9

二十一世紀を人権の世紀に

私「今日ね、学校で『世界人権宣言』について習ったよ」

祖母「国連で採択されたものだね。第二次世界大戦後、すぐだったと思うよ」

祖父「おじいちゃんたちが体験した戦争でも、たくさんの命が奪われた。あんな思いはもう二度としたくないもんだ」

祖母「あなたが習った『世界人権宣言』は、こうした戦争に対する深い反省から生まれたものよ」

父「人権のないところに平和はないし、平和のないところに人権はない。『戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦（とりで）を築かねばならない』とユネスコ憲章にも書いてあるしね。お父さんもそう思うよ」

母「『世界人権宣言』を実現させるために、国連はいろんな取り組みをしてきたのよ。その一つが『人権教育のための国連十年』なの。そのねらいは、世界中に人権という文化を根付かせるためなのよ」

私「人権文化？　何かむずかしそう…」

母「あなたが大切にされたいと思っているように、誰だって大切にしてほしいと願っているの。このことを、お互いが普通に受けとめることだと思うわ」

人権 環境 共生

人権を大切にする文化をつくろう

国連では1948（昭和23）年に採択された「世界人権宣言」を契機として、以後、国際婦人年や国際識字年など、多くの国際的な取り組みの中で、人権が尊重される社会の実現が訴えられてきました。

そして、21世紀を目前にした、1994（平成6）年、国連は「人権教育のための国連十年」（1995〜2004年）を定め、これを受けて国、県、市では行動計画を策定しています。

この行動計画にも示されているように、今なお、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者に関する問題など様々な人権問題が存在しています。国連十年の取り組みは、2004年で終了しましたが、2005年から2007年まで世界プログラムに基づいて初等・中等教育の人権教育・啓発が行われています。

現在、2003（平成15）年に策定した「福岡県人権教育・啓発基本指針」や2005（平成17）年策定の「柳川市あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例」に基づいて人権教育・啓発を計画的に推進し、人権問題の解決をめざしています。

21世紀を真に人権が尊重される世紀とするためにともに考えていきましょう。

世界人権宣言（第一条）

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

柳川市あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例（抜粋）

（目的）

第一条　この条例は「すべての国民に基本的人権の享有を保障し、法の下の平等」を定める日本国憲法及び「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である」と定めた世界人権宣言の基本理念にのっとり、部落差別をはじめ、障害者差別、女性差別、いじめ等のあらゆる差別（以下「あらゆる差別」という。）をなくし、市民一人ひとりの参加による「人権尊重都市」の建設をめざし、もって明るく住み良い柳川市の実現に寄与することを目的とする。

●編集　柳川市/〒832-8601福岡県柳川市本町87-1 総務部企画課広報広聴係 ☎0944ー73ー8111 FAX74ー1374
●ホームページアドレス　http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/　●メールアドレス　kikaku@city.yanagawa.lg.jp